



創業116年、日本の洋画筆製造のパイオニア！

# 天王寺区の隠れた魅力を発見——マエヤマドローエル 世界の画家に愛される日本の洋画筆

美術の展示会が多く行われ、創作意欲も高まる芸術の秋。11月3日の文化の日になみ、絵画に親しむ方ももちろん、そつでない方にもご紹介したい区内の老舗メーカーがあります。それは洋画筆を作り続けて1世紀以上の歴史を刻むマエヤマドローエル株式会社(勝山3丁目)です。

マエヤマドローエルは1905(明治38)年、現社長の祖父・前山喜次郎氏が前山商店として創業しました。幼少時代、毛筆商で修業した喜次郎氏は、試行錯誤の末、独自の製法で日本の洋画筆を作り上げたパイオニアです。大正初期、その筆の噂を聞きつけ、世界最大の画筆商がニューヨークから船で買い付けにやってくるということになります。

二代目社長となった寅雄氏は、製品の改良に着手します。苦労を重ねて「毛抜け止め」の技術を開発しました。そんな父の後を継ぎ、オーストラリアやヨーロッパ、アジアなど、世界中の市場を開拓したのが三代目の前山克己社長です。自社の洋画筆について、前山さんにお話を伺いました。

「ドローエルの名前は英語の draw(描く)と well(良く)から。ドローエルは一本一本手作りですよ、とハンドメイドの文字も筆に刻印したんです。その結果、品質が評価されて、ドローエルは世界各国で愛用されるようになりました」。現在は100種類ほどの洋画筆を製造し、生産量の約90%を海外に輸出しています。



マエヤマドローエル株式会社・代表取締役社長の前山克己さん。「うちの絵筆は手作業でないと作れません。材料や手間を惜しまず、描きやすいと喜ばれる筆を丁寧に作っていきます」

## 厳選素材と熟練の手技で作られる洋画筆

洋画筆で最も大切な部分は穂先。水彩には馬、リス、イタチ(セーブル)など、油彩には豚、狸などの用途に適した原毛を選ぶところから始まり、

オーダーに合わせて種類の違う毛をブレンドします。先端がカットされた毛は筆の穂先にならないため、自然のままの毛の長さを均一に揃え、壺に入れて形を整えてから糸をかけます。昔から変わらないこの繊細な穂先作りは、ベテランの職人が熟練の手技で行っています。

「馬なら胴毛か足毛、産地も北米や南米がいいんです。イタチは冬のシベリア産の雄のしっぽが最高級です。職人はそういう毛質の良し悪しをすべて見極めて、どの毛をどう並べるか判断しないとイケません。獣毛だけでなく、ナイロン毛も使いますので、知識や経験、手先の器用さは必要不可欠です。今、うちの職人が下の世代に教えています。が、なかなか難しいですね。一通りの技術を身につけるには10年ほどかかりますし、年々少なくなってきた後継者を確保することが大きな課題です」(前山さん)

## 世界が求める「いい絵筆」をこれからも

近年は海外で作られた低価格の洋

画筆が多く流通しているため、輸出する国の数は、最盛期に比べて減少しているとのこと。しかし、ドローエルは、安価な製品とは一線を画した高級洋画筆として、

しなやかな描き味、耐久性などの優れた品質で世界の画家たちの心をつかんでいるようです。「長年うちの筆を使ってくださっているフランスやニューヨーク、スウェーデンの画家さんが、生徒さんに『ベストブラシ』って勧めてくださっているみたいで、最近、世界各地から嬉しい感想のお言葉や初めての注文をメールでいただきます。手を抜かず、いい絵筆を作り続けられ、こつこつと消費市場が少しずつ広がっていくのではないかと思っています」

やわらかな口調で話す前山さんは、祖父から三代暮らしてきた地元



前山さんがお仕事の合間を縫って、じっくり描き上げた水彩画

に愛されるドローエルの洋画筆が私たちの住むまちで作られていることを。



マエヤマドローエル株式会社

ホームページはこちら



## 目次

- 2 いいね♪天王寺 世界の画家に愛される日本の洋画筆
- 3 お知らせ
- 4 保健衛生
- 5 子育て情報
- 6 イベント情報
- 8 わがまち天王寺
- 9 大阪市民のみなさんへ
- 12 児童虐待防止月間/2021てんのうじ吹奏楽フェスティバル/第47回天王寺区民まつりオンライン

新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントなどが変更または中止となる場合があります。

**天王寺区の統計** (令和3年10月1日現在)

- 推計人口: 83,155人 ● 世帯数: 42,840世帯 ● 面積: 4.84km<sup>2</sup>

**天王寺区役所**

- 天王寺区役所・保健福祉センター
- 〒543-8501 真法院町20-33
- ホームページ [www.city.osaka.lg.jp/tennoji](http://www.city.osaka.lg.jp/tennoji)



※「DRAWELL(ドローエル)」はマエヤマドローエル株式会社の登録商標です。